

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	インプロビゼーション2	
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	プレイヤーコース（ベース）		開設期 後期
対象年次	1年		科目区分	必修		時間数 30時間
単位数	1単位				授業形態	演習
教科書/教材	毎回必要に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	栗山宣幸			実務経験の有無・職種	有・音楽家	
学習目的						
この科目を受講する学生は、音楽活動を通じて今後の社会人として求められるコミュニケーション能力と、音楽家としての自己表現力を高めることによって自己鍛錬の必要性和喜びを学び、また他者との価値観の相違の認識と受容を繰り返すことで、幅の広い人間性と社会性を持つことの重要性を理解することが目的である。						
到達目標						
この科目では、自身の楽器をより専門的に表現力や判断力を高めることで創造的に表現できる力を身に付け、自己表現の喜びと他者との共感力を養うことと、日々の自己鍛錬の計画と実行の積み重ねによって得られるものがいかに重要であるかを理解することを目標とする。						
教育方法等						
授業概要	この授業では、毎週学生の理解度をヒヤリング・チェックしながら進める。他者の問題点が自己の問題と共通あるいは類似のことも多く、問題解決しながら進めていく。授業中の積極的発言も自己表現の一つと考え、疑問点や問題点をできる限りその場で解決しながら行っていく。					
注意点	この授業では、受講の態度や出席数はもちろん基本的なあいさつやマナーなど一般社会の一員としてあるべき行動を求める。授業内の問題点は必ず質問またはメモに残して解消していくこと。授業内で配布されたプリント等は常時持ってくる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	40%	期末時に総合評価する			
	小テスト	10%	授業時間内で実施			
	レポート	10%	授業時間内で実施			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内で実施			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
1回	授業内容		テーマをベースで弾く（Affordable）			
2回	ベースでメロディを弾く(2)		16分音符の4つ目のグループとミュート			
3回	ベースでメロディを弾く(3)		EmペンタトニックとAmペンタトニックを弾き分ける（共通音と特徴音の理解）			
4回	ベースでメロディを弾く(4)		テーマとベーシックパターン・リフとアドリブフレーズ			
5回	ベースでメロディを弾く(5)		ディミニッシュスケールとハーモニクマイナースケール			
6回	ベースでメロディを弾く(6)		saxソロをコピーすることで表現の幅を広げる			
7回	コードの構成音について(1)		コード進行に沿ってコードトーン(Root、3rd、5th、7th)を弾く			
8回	コードの構成音について(2)		Root以外の音(3rd、5th、7th)から弾き始める・転回形の理解と実践(1)			
9回	コードの構成音について(3)		Root以外の音(3rd、5th、7th)から弾き始める・転回形の理解と実践(2)			
10回	コードの構成音について(4)		2nd、6thの効果的なリフ			
11回	ウォーキングベース(1)		コードアルペジオの転回形			
12回	ウォーキングベース(2)		4ビート・マイナーブルース			
13回	ウォーキングベース(3)		シャッフル・A7ブルース			
14回	ボサノバパターン・16ビート		ボサノバパターンと16ビートマイナーランニングパターン			
15回	後期復習		後期課題曲 Affordable、Don't Look Down、Take Your Time、Stop It			